

# 令和5年度 事業報告書

## 1. 事業概要

我が国経済は、コロナ禍の3年間を乗り越え、改善しつつあります。30年ぶりとなる高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、経済には前向きな動きが見られ、デフレから脱却し、経済の新たなステージに移行する千載一遇のチャンスを迎えています。

このような状況の中で、当シルバー人材センターは地域社会の担い手として、地域社会に密着した各種事業の展開に取り組みました。

当センターは法令遵守のもと組織運営の透明性や効率的な事業運営を図り、さらなる「就業開拓と事業の拡充」をはじめとする諸課題の解決に向けて、会員・役員及び職員が一丸となり積極的に事業推進に努めてまいりました。

会員数については、令和5年度末の会員数は322名と前年度より5名の減となっております。また、受託事業の契約金額は1億2863万円と前年より925万円の減、労働者派遣事業は4465万円で前年度より592万円の増、全ての契約金額は1億7328万円となり、前年度より359万円の減少となりました。

全国の各シルバー人材センターは、事業実績は持ち直しの動きがみられるものの、会員数は減少し厳しい状況となっております。当シルバー人材センターにおいても会員数は減少し、労働者派遣事業は増加ながら就業会員の減少に伴い全体としては減少となり事業運営は厳しい状況であります。

傷害事故発生については、近年、県下拠点センターでの事故発生率が高い状況が続いているため、令和5年度においても「自らの身は、自らが守る」を基本として、「事故0ゼロ」を目指し、安全講習受講の徹底、パトロールの強化、SMSでの注意喚起など地道な取り組みを図りました。結果、傷害事故0件、賠償事故1件、労災保険対象1件と減少となりましたが、県内センターの中には、傷害・賠償とも「0」というセンターが3センター有り、当センターも「事故0ゼロ」を目指し更なる安全就業の徹底を推し進めていかなければなりません。

以下、令和5年度において、次の項目を重点目標に掲げ実施しましたのでご報告いたします。

### (1) 安全・適正就業の徹底

- ① 会員一人ひとりの安全就業に対する自覚と自己啓発を推進するため、会員は必ず年間1回以上の講習・研修会の受講

★印 講習・研修会 5講習を開催 延べ225名受講  
(昨年より20名増)

- ② 会員自らの健康管理のため、健康診断受診の促進（5月全会員へ通知）
- ③ 安全就業チェックシートを活用した安全保護具等の装着及び安全作業の徹底
- ④ 安全パトロールの強化（**傷害事故現場のパトロールの実施 年間5回実施・うち4回県連合との合同**）
- ⑤ 契約書等締結の励行や内容を点検し、安全就業の適正化に取り組むとともに、法令順守の徹底を図る
- ⑥ 安全・適正就業講習会や安全救急講習会の実施（**年間3回実施**）
- ⑦ 就業途上の交通事故防止の徹底ならびに行政と連携した高齢者事故防止対策の推進（**交通安全講習会・テレマティクスタグの活用による安全運転診断の実施**）
- ⑧ **SMSにおいて、熱中症警戒アラート、気象による警戒の連絡、事故発生**の反省を含めた**注意喚起の連絡**
- ⑨ 国が作成した「適正就業ガイドライン」による適正就業の徹底

## （2）就業開拓と新しい分野の事業の推進

- ① 「シルバー派遣事業」の就業開拓（県シルバー連合を派遣元として、事業拡大の取り組み）
- ② 市内各企業や一般家庭における就業開拓
- ③ 育児支援（一時預り）、介護、福祉・家事援助サービス、環境（空家の管理）など市民生活をサポートする事業の就業開拓
- ④ あわら市が主体となって実施する「介護予防日常生活支援総合事業」の受託支援（**対象者21件 契約金額1,638,000円 昨年度より11万円の増**）
- ⑤ ホームページに仕事の受付窓口として開設した、インターネット「Web受注チャンネル」の利用による就業開拓

## （3）会員の増強と組織の強化

- ① 入会説明会を毎月開催（第3火曜日午後）また、福井県シルバー人材センター連合による「高齢者活躍人材確保育成事業」と連携した説明会を実施（年2回6月・1月開催）
- ② 会員の口コミによる「会員一人が一人の仲間を増やす運動」の推進
- ③ 福井県シルバー人材センター連合や関係機関との連携の強化
- ④ 地区懇談会などによる会員相互の連帯意識の高揚
- ⑤ 会員とセンターが素早く情報を連携するため、携帯SMS（ショートメールサービス）の活用の実施（**使用方法の周知**）  
**さらなるデジタル推進のため、会員専用サイト Smile to Smile 登録を推進（54名が登録）**
- ⑥ ホームページに入会者の受付窓口として開設した、インターネット「Web入会チャンネル」の利用により入会の促進

#### (4) 普及啓発活動の実施

- ① 広報「シルバーあわら」の発行（年2回、8月・1月発行）
- ② 県シルバー人材センター連合「高齢者活躍人材確保育成事業」と連携し、説明会チラシを2回発行、あわら市広報に講習会の広告を掲載
- ③ シルバー事業の社会的意義を広く地域に周知するため、ボランティア活動をあわら市の行事に併せて2回開催。
- ④ 「シルバーの日」の普及啓発に、会員募集・仕事募集のチラシをあわら市内3ヶ所のスーパーにて配布（180部配布）

#### (5) 技能講習会等の実施

- ① 福井県シルバー人材センター連合「高齢者活躍人材確保育成事業」と連携し「子育て支援」講習会を実施。また、当センターによる「剪定」・「襖・障子張り」講習会を実施
- ② 福井県子ども家庭課が開催する「子ども一時預かり」の各セミナーに参加